

岡山県障害者（児）施設サービス自主評価結果（公表用）

施設名：ワークスクらよし

施設所在地：鳥取県倉吉市関金町関金宿2710-1

施設種別：就労継続支援B型

運営主体：社会福祉法人 慶光会

管理者：竺原 史郎

評価月日：令和5年3月1日

評価項目（中項目）	評価結果
I-1 理念・基本方針	評価：A 事業指針、倫理綱領についてはホームページやパンフレットに掲載し周知している。職員や利用者、保護者へは説明を行い、分かりやすく理解できるよう工夫している。
I-2 計画策定	評価：B 地域で自立を目指すための就労・経済面での保障を大きな目標に掲げている。職員へは事業計画を明確に示し会議等で課題や問題点の解決に向けて取り組んでいる。その中で、日々、利用者の状況変化に合わせた支援の共有と統一が必要となっており、日々の進捗状況を把握しながら、定期的な振り返りを行った。
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	評価：A 事業拡大に伴い、職員に求められる役割も多様化している。そのような状況の中で、管理者のリーダーシップがより重要となると考えている。管理者は積極的に各現場の状況把握を行い、情報集約を行っている。
II-1 経営状況の把握	評価：B 地域のニーズを捉えるため、様々な社会資源から情報収集を行っている。地域の状況を把握することで、必要な事業展開につなげるよう取り組んでいる。
II-2 人材の確保・養成	評価：B より安定的な人材確保に向けて法人の人事担当者が中心となり、人材確保に取り組んでいる。 職員の育成については研修等の情報提供を行い、受講奨励を行っているが、今後は習得が必要とされる知識・技術、個人が学びたい分野それぞれに合った研修・教育が必要である。
II-3 地域との交流と連携	評価：B 地域の方に事業所の取り組みを知ってもらえるよう、地域交流を課題に取り組んでいる。 今後はボランティア受入れ登録も行き、積極的な地域交流を図っていく。

III-1 利用者本位の福祉サービス	<p>評価：B 法人全体で人権擁護、虐待防止、プライバシー保護について周知を行い、利用者が安心かつ主体的に活動できるための仕組み作りと満足度の向上を目指している。毎月利用者との面談を行い、個人の意見を聞き取り支援に活かしている。</p>
III-2 サービスの質の確保	<p>評価：B 日々の取り組みの中で必要に応じてケースカンファレンスを実施している。ケースカンファレンスでは職員へ課題と取り組みの周知を行うことで支援の統一を図り、適切なサービス提供につなげている。</p>
III-3 サービスの開始・継続	<p>評価：A サービス利用開始の際には、契約書・重要事項説明書等の資料を提示し、分かりやすく丁寧に説明を行っている。 事業所玄関には法人・事業所の概要を掲示している。</p>
IV-1 利用者に応じた個別支援プログラム	<p>評価：A 地域生活支援センター等の関連機関と連携を行い、事業所見学・実習を実施した上で利用者、家族の要望を確認し利用開始を決定している。また、利用者、家族の要望を基に個別支援計画の策定、見直しも行っている。 保護者とは電話・メール等にて確認や情報共有を行っている。</p>
IV-2 日常生活支援サービス	<p>評価：B 家庭やグループホームと連携を図りながら健康状態等を把握し、個別に合わせた支援を行っている。その他、作業のみでなく、季節ごとに楽しみを持てる行事を取り入れながら、メリハリのついた作業環境となるよう工夫している。</p>
V-1 生活環境の整備	<p>非該当。</p>
VI-1 緊急時の対応	<p>評価：A 対応マニュアルは、全職員に配布し周知を図っている。 年2回の火災・災害避難・通報・消火訓練を行い、消防署への報告を行っている。 救急蘇生法講習会を年1回実施している。</p>
VII-1 就労意欲の醸成	<p>評価：A 個々の作業レベルに対応するため、作業工程の細分化、補助具の使用等に取り組み、安定した作業参加と作業効率の向上を図っている。また、就労に関連した学習会等を行い、社会マナー・就労意欲の向上に努めている。 その他、一般就労を希望される利用者に対して企業での実習や必要な支援を行っている。</p>

* 着眼点の項目等を参考に、具体的な実施（達成）の状況や未実施の場合はその理由など、評価における根拠とともに、今後の改善計画（方針）なども記載してください。

* 「VII-1 就労意欲の醸成」欄は、授産施設のみが該当します。